

製品名: フィブリノーゲン α 鎖 (4J4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10970**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	FGA
別名	Fba5e; FGA; Fib; Fib2; Fibrinopeptide A;
遺伝子 ID	2243.0
SwissProt ID	P02671
免疫原	ヒトフィブリノーゲン α 鎖の合成ペプチド

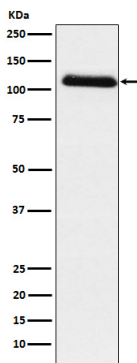
背景

フィブリノゲンには、フィブリンに重合するモノマーを生成する機能と、血小板凝集の補因子として機能する機能という2つの機能があります。プロテアーゼであるトロンピンによって切断されてモノマーを生成し、フィブリノゲンベータ (FGB) およびフィブリノゲンガンマ (FGG) とともに重合して不溶性のフィブリンマトリックスを形成します。フィブリンは、血栓の主成分の1つとして、止血において主要な機能を果たします。さらに、創傷修復の初期段階では、病変を安定させ、再上皮化の際に細胞の移動を誘導する働きがあります。抗凝固処理血液を使用した *in vitro* 研究に基づき、当初は血小板凝集に必須であると考えられていました。しかし、その後の研究で、*in vivo* での血栓形成に必ずしも必要ではないことが示されています。ITGB3 依存性経路を介して、活性化血小板の SELP の発現を促進します。母体のフィブリノゲンは、妊娠の成功に不可欠です。フィブリン沈着は感染症にも関連しており、IFNG を介した出血を予防します。また、自然免疫と T 細胞を介した免疫応答を促進する可能性もあります。

研究分野

-

画像データ



ヒト血漿溶解物中のフィブリノーゲン α 鎖発現のウェスタン ブロット分析。